

ゼルダの伝説～Tears of the Kingdom～ に登場
する馬宿のジオラマ作成

[梅原 未音]

[3年 E組 33番]

[目次]

1、 研究概要

[制作のきっかけ] 3

[概要] 4

2、 制作過程

[～床～] 5

[～小道具～] 7

[～柱, 壁, 屋根～]15

[～その他アイテム作成～]17

[～仕上げ～]20

3、 まとめ

[制作からの考察]21

[参考文献]25

[制作のきっかけ]

私が、この自由研究の機会で「ゼルダの伝説」に登場する「馬宿」のジオラマ作成を試みたきっかけは2つある。

1つ目は、私が「ゼルダの伝説」のゲームが好きでその世界にある建物は現実にもモデルとなった場所があるのか興味を持ったからだ。映画やアニメでもその背景となる場所や建物があり、それが聖地として注目されている。そして、「ゼルダの伝説」のそのような場所や建物を知り、よりこのゲームの理解を深めたいと思った。

2つ目は、「ゼルダの伝説」の理解を深めるためにも実際に自ら建物を制作しようと考えたからだ。その建物の中でも私は「馬宿」に注目した。それは、「馬宿」の形や作りがとてもユニークで面白いからだ。

この2つの理由から私は「ゼルダの伝説～Tears of the Kingdom に登場する馬宿のジオラマ作成」という自由研究を試みた。



[概要]

この自由研究では「ゼルダの伝説～Tears of the Kingdom」に登場する馬宿(双子馬宿)を制作する。また、制作していくと共にその建物の構造や床や屋根などの部位について調べ、歴史や成り立ちを学んでいく。そして、「ゼルダの伝説」の世界と現実の共通点を探し、このゲームの背景に迫ることが今回の目的だ。

「馬宿とは」…… 「ゼルダの伝説」に登場し、ゲームの世界各地に点在する。その数は16個である。今回はその中でも「双子馬宿」に注目していく。ゲーム内での馬宿の役割は宿泊や馬の登録である。



[制作過程 ～床～]

『特徴』… ヘリンボーン、12 角形

『材料』… ○約 30 センチの木の板(セリアで購入)

○木製のコーヒーマドラー(セリアで購入)

ワトコカラーオイル・ダークウォルナット

○木工用ボンド、カッター、修正液、色鉛筆、やすり

『作り方』

【画像のような※ヘリンボーンの床になるようマドラーを組み合わせていく。】



① マドラー同士がピッタリ付くよう先端をカッターで切っていく。



② 上から見ると 12 角形になる。それに合わせて大体の下書きをする。



③ 下書きに合わせて先端をカットしたマドラーをボンドで貼り付ける。



④ ボンドが乾けば、やすりがけをする。



⑤ ワトコカラーオイルを全体に塗る。



⑥ ゲーム内にある床の落書きを修正液で描く。



《～床～完成》

[制作過程～小道具～]

『特徴』… 受付の棚の文様(装飾)、天蓋ベッド、タッセル(ベッドの装飾)

『材料』…○スチレンボード(ダイソーで購入)

スチレンペーパー(ダイソーで購入)

○薄い木の板(アヤハディオで購入)

コピー用紙

レジン用造花、布、綿

アクリル絵の具、色鉛筆、油性ペン、木工用ボンド

カッター、やすり、ホッチキス、竹串、竹ひご、割り箸

『作り方』

～受付～



① 写真の形に似せて下書きを描く。



② 下書きに合わせてスチレンボードをカッターで切る。

③ カットしたスチレンボードに合わせて木の板を切る。



④ 木の板をスチレンボードにボンドで貼る。

⑤ 受付の棚の横の部分の木の板もカットしてスチレンボードに貼る。

⑥ 細かい装飾も木の板をカットし貼っていく。

⑦ もう1つも同じようにする。

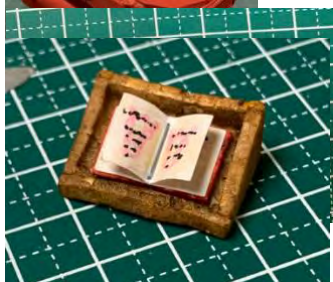
⑧ それを割り箸を支えに引っ付ける。



⑨ 棚を木の板と竹ひごでつける。



- ⑩ アクリル絵の具で色付けをする
- ⑪ 上にある本や箱をスチレンペーパー、コピー用紙によって作る。色は油性ペンで塗る。
- ⑫ 開いている本はコピー用紙を切り、ホッチキスで止めて作る。
- ⑬ 受付にある受付表はコピー用紙を重ねて作る。竹串で紙を丸める。花瓶は紙粘土



で作る。



- ⑭ 作ったパーツを⑩番の棚にボンドで貼り、完成。

《～受付～完成》

『作り方』

～※天蓋ベッド～



ベッドには2つの種類があり、右のベッドは左よりも豪華になっている。

左のベッドは3個、右のベッドは1個。

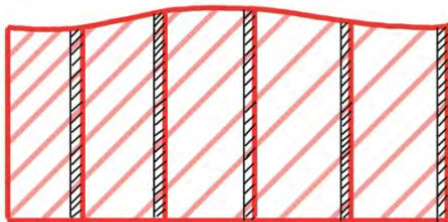
- ① まず左の豪華ではないベッドを作る。

ベッドの土台となる部分(赤)をスチレンペーパー、木の板、割り箸で作成する。

- ② スチレンペーパーを長方形にカットし、ベッドの底の部分に使う。
 ③ カットしたスチレンペーパーに木の板をピッタリ合うように貼る。
 ④ 下の図のようなベッドの端の骨組みのところを作っていく。
 ⑤ 柱(緑)とベッドの横(赤)の部分に分ける。赤の部分と緑の柱の幅を足した形で木の板を切る。

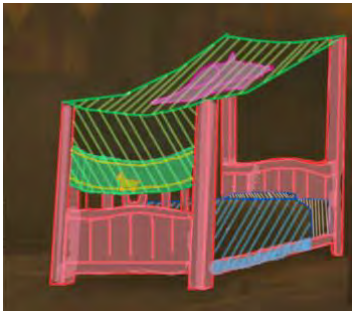


- ⑥ 赤の部分だけを切った木の板を作り、横の幅を5等分し、カットする。
 ⑦ カットした5枚の木の板を縦に小さく切る。(黒の斜線)



- ⑧ カットした木の板を緑の柱の部分は避けて、⑤番の木の板に貼り付ける。
 ⑨ 緑の柱を割り箸を切って作る。太さはカッターとヤスリで揃える。
 ⑩ ⑧番で木の板を貼っていないところ(端)に割り箸をボンドで貼る。
 ⑪ 同じものをもう一つ作る。(枕側のもの)
 ⑫ ⑤番の図でオレンジ色の斜線の部分を作る。
 ⑬ 木の板をカーブに切り、それを2つ作る。
 ⑭ 竹ひごをちょうど良い長さに切り、それを4つ作る。
 ⑮ 蹄鉄形のところは木の板をカットして使う。
 ⑯ ⑬番で作った2枚の木の板に竹ひごと蹄鉄形の木の板を挟み、ボンドで貼る。

- ⑰ これを⑩番で作ったものに付ける。



- ⑱ ③番で作ったものをボンドでつけて完成。
- ⑲ アクリル絵の具で色をつけて赤の部分は完成。
- ⑳ 次にベッド部分(青)を作る。まずベッドの形(長方形)にスチレンボードをカットする。
- ㉑ それに白い布を巻き、ボンドで付ける。
- ㉒ 枕は白い布に綿を入れてなみ縫いをして作る。
- ㉓ 布団は緑の布に綿を入れてなみ縫いで作ったものに白い布を重ねて作る。



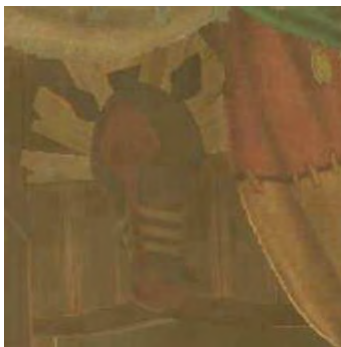
- ㉔ ベッドを⑱番に乗せる。
- ㉕ 次は図の緑の部分を作る。布を使う。
- ㉖ 布を長方形に切る。
- ㉗ 色の違う部分は縫い合わせる。
- ㉘ 柄は油性ペンなどで描く。
- ㉙ ⑱番で作ったものに布を貼る。
- ㉚ 同じものをあと2つ作る。

～ベッド(普通 ver)完成～

- ① 豪華なベッドを作っていく。



- ② まず、ベッド部分と端の骨組み(ピンク)の部分は普通のベッド ver と同じようにして作る。
- ③ 黄色の柱の部分を割り箸で作る。
- ④ 赤の斜線部分はだまかに形を取って下書きをする。
- ⑤ 下書きに合わせて木の板をカットする。
- ⑥ 厚みを出すためにそれぞれ2枚ずつカットし、貼り付ける。
- ⑦ ③番の割り箸に⑥番の木の板をボンドで付ける。
- ⑧ アクリル絵の具で色を塗る。
- ⑨ 紫の馬の頭の飾りは紙粘土で作る。
- ⑩ 色はアクリル絵の具で塗る。



- ⑪ 上の飾り(緑)の部分を布で作る。



- ⑫ 画像のつぎはぎな感じを出すために4種類の布を縫い合わせていく。
- ⑬ カーテンのようなところが4つ、たらされているところが2つ。
- ⑭ ⑧番までに作った骨組みの内側に布をボンドで貼り付ける。

- ⑮ ベッド部分は台(ピンク)に乗せる。
- ⑯ タッセルは毛糸で作る。
- ⑰ 最後にタッセルと毛糸をボンドで引っ付け、飾り付けをする。

～ベッド(豪華 ver)完成～

《～ベッド～完成》

『作り方』

～机～



- ① 木の板を円の形にカットする。(机)
- ② 小さい円の形にカットする。それを3つ。(椅子)
- ③ ①②番をそれぞれもう1枚ずつカットする。
- ④ 2枚合わせボンドで貼り付ける。
- ⑤ 机の足と椅子の足を竹ひごで作る。
- ⑥ 作ったものをボンドで貼り付ける。
- ⑦ アクリル絵の具で色を塗る。



- ⑧ 上にあるコップやポットは紙粘土で作る。

《～机～完成》

[制作過程 ～柱、壁、屋根～]

『特徴』 … 布製の壁と屋根、大きな中央の柱、屋根の煙、壁の柄

『材料』 … ○木製の丸棒(アヤハディオで購入)

アクリル絵の具、カッター、ハサミ、油性ペン

スチレンボード、スチレンペーパー

○段ボール、タコ糸、布、竹ひご、粘土、レジン



中央の柱



壁



屋根



周りの柱

『作り方』 主に段ボールとスチレンボード、丸棒を使って作成する。

～柱～

- ① 中央の柱は段ボールを丸め、図のように段ボールを切り取り作る。
- ② 中心にある円状の柱はスチレンボードとスチレンペーパーを切り取り作る。
- ③ ②番を①番にタコ紐で繋げる。また、①番にタコ糸を巻き付ける。
- ④ 色はアクリル絵の具で塗る。

- ⑤ 周りの柱は丸棒を使う。
- ⑥ 色はアクリル絵の具で塗り、周りにタコ糸を巻き付ける。

～壁～

- ① 布を作った柱に貼り付ける。
- ② 布は色の違うものを縫い合わせる。
- ③ 柄のある布は白い布に油性ペンなどで描く。

～屋根～

取り外せるようにする。

- ① 丸棒で骨組みを作る。
- ② 骨組みに2種類(赤白)の布を貼り付ける。
- ③ スチレンボードで馬の頭形を作る。
- ④ 作ったものに段ボールを貼り付ける。
- ⑤ 丸棒に馬の頭形をボンドで付ける。
- ⑥ たてがみの部分を段ボールで作り、丸棒で付ける。
- ⑦ 馬の頭部分の細かいところは粘土やレジンで作る。



《～柱、壁、屋根～完成》

[制作過程～その他アイテム作成～]

『特徴』…看板の文字

『材料』… ○段ボール、木の板、木の丸棒

スチレンペーパー、スチレンボード

○毛糸、タコ糸

コピー用紙、色鉛筆、油性ペン、カッター

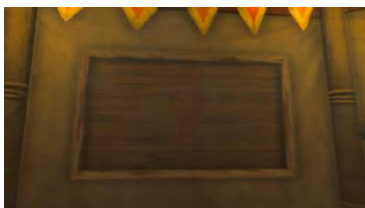
レジン、粘土、アクリル絵の具

『作り方』

ランタン…レジンを使って作成。



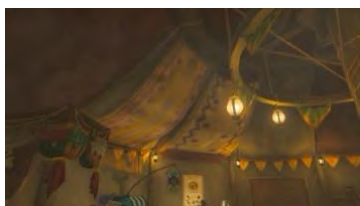
額縁…木の板とスチレンペーパーで作成。



ポスター…コピー用紙に色鉛筆とペンで描いて作成。



天井の布…布を縫い合わせてペンで模様を描いて作成。



旗…タコ糸とコピー用紙で作成。



馬具…粘土とスチレンボードで作成。



箱…段ボール、スチレンボードで作成。



バツカンロール…毛糸を丸めて作成。



馬小屋…木の棒と布、タコ糸、段ボールで作成。



マット…布にペンで柄をつけて作成。



バケツ…段ボールにアクリル絵の具で色を塗って作成。



看板…段ボールにアクリル絵の具と油性ペンで色を塗って作成。



[制作過程～仕上げ～]

作ったアイテムをそれぞれ配置し、旗などをボンドで付けて飾りつけをする。

《完成》



[まとめ～制作からの考察、感想～]

《制作から分かった馬宿の特徴》

まず、馬宿そのものについて調べた。調べていると、「ゼルダの伝説」にある馬宿に似たものが見つかった。それは江戸時代の「宿駅」である。宿駅とはもともと街道沿いの集落で、旅人を止めたり、荷物を運ぶための人や馬を集めておいた宿場のことを言う。そして、宿駅はそれぞれの街道の拠点としての役割を果たしており、その点が旅人を泊め、馬を預かり、色んな地方に存在している馬宿と近いと考えた。このことから、「ゼルダの伝説」の馬宿の背景は日本にあると分かった。

次に、馬宿の特徴には、『ヘリンボーン、12 角形、受付の棚の文様(装飾)、天蓋ベッド、タッセル(ベッドの装飾)、布製の壁と屋根、大きな中央の柱、屋根の煙、壁の柄、看板の文字』の 9 個が挙げられた。これらの特徴を調べ、「ゼルダの伝説」への理解を深めていく。

1 つ目は、床に使われているヘリンボーンについてだ。ヘリンボーンの名前の由来はその姿が魚のニシンの骨に似ていることからこう呼ばれるようになった。ヘリンボーンは元々、生地織り方のことであり、それは 19 世紀のイギリスで誕生したと言われている。また、床に使われるヘリンボーンはフランスのヴェルサイユ宮殿が発祥と言われている。ヴェルサイユ宮殿は、元々ルイ 13 世が狩猟のために使った館を、16 世紀(1661 年)にルイ 14 世が建築家のルイ・ル・ヴォーに指揮を任せて増築させ、宮殿とし、その中にある戴冠の間の床はフレンチヘリンボーンが貼られている。ヘリンボーンの床がヴェルサイユ宮殿に使われていたこともあり、ヨーロッパ貴族が好んで使っていたとも言われている。このことから馬宿に使われているヘリ

ンボーンの床はイギリスとフランスが背景とわかる。つまり「ゼルダの伝説」にはイギリスとフランスの文化が要素としてあるということだ。

2つ目は、馬宿の形を平面で見ると12角形になっていることについてだ。インターネットで調べたが、12角形の建物は少なかった。しかし、多角形の建物であれば法隆寺東院夢殿や8角形の古墳である八角墳などがあつた。それは、8が幸運の数とされ、全ての方角や広がりを表す数として好まれているからだろう。また、八角墳の八角形には天皇の支配が四方八方で及ぶことを表現しているという説もある。このことから仏教つまり中国の文化と日本古来の文化が要素としてあると分かる。また、12角形になっている馬宿にはもう一つ似ている建物があつた。それは、モンゴルのゲルだ。ゲルとはモンゴルの遊牧民が住む移動式の住居のことで平面で見ると円形になっている。12角形の形は円形に近いので似ていると考えた。他にも、ゲルに似ている特徴があつた。布製の壁と屋根、大きな中央の柱、屋根の煙である。ゲルは壁が格子状の骨組みからできており、その上に壁用フェルトと厚手の布、防水用の布をかぶせてできている。屋根も屋根用フェルトをかぶせ、厚手の布、防水用の布をかぶせている。厚手の布と防水用の布はゲル全体にかぶせているため屋根と壁にかぶせているものは一体である。また、大きな中央の柱はゲルの中央の2本の支柱に似ている。他にも、支柱の周りの骨組みが放射線状になっている点も似ている。加えて、モンゴルでは冬の寒さを防ぐためにゲルの中央でストーブを焚くことがある。そのため、ゲーム内では見えないが、馬宿の屋根の上の構造物から出ている煙はどこかでストーブが焚かれている煙だと推測できる。このようなことから、「ゼルダの伝説」にモンゴルの文化の要素があると分かる。

3つ目は、受付の棚の文様(装飾)についてである。この文様は四角が重なったような装飾となっている。それはイギリスのアンティーク家具、特にルネサンスからバロックへの過渡期と言えるジャコビアン様式の家具に似ていると考察した。そのため、ここでもイギリスの文化が要素としてあると分かる。

4つ目は、天蓋ベッドについてだ。馬宿には4つの天蓋ベッドが置かれている。14世紀のヨーロッパ、上流階級において「寝室」という概念がなく、寝室が他の部屋と区別されておらず、「広間」が生活の場だった。そのような広間に「寝室」としての区切りをしたり、隙間風を防ぐ役割として天井から吊るされたカーテンが「天蓋付きベッド」の起源だ。このことから、「ゼルダの伝説」には中世ヨーロッパの文化が要素としてあると分かる。

5つ目は、タッセルについてだ。馬宿のベッドの装飾にタッセルが使われている。タッセルは房飾りだ。タッセルの歴史は深く、色んな説があるが最古の記録としては紀元前1900年頃、エジプトの王家に贈り物を捧げる房ひもで覆われたフェニキアの王子の絵画とされている。その後、宗教儀式の正装の豪華な装飾として使用されるようになり、ルネサンス期では房作りの技術が発展した。このことから、馬宿のタッセル一つに紀元前1900年頃からの奥深い歴史が込められていると分かった。

6つ目は、壁の柄についてだ。馬宿の壁には人や馬の絵が描かれており、馬と人が並んで、海の近くを走っている様子が見られた。それはメソポタミア文明やエジプト文明の絵画に抽象的に表現されている点において似ていると考えた。このことから、「ゼルダの伝説」にはメソポタミア文明、エジプト文明の要素があると分かる。

7つ目は、看板の文字についてだ。看板には下の図のような文字が書かれていた。それを解読するとこの文字はアルファベットがモデルだと考察した。これに当てはめて文字を読んでみると「STABLE」となった。Stable は厩舎という意味だ。それならば馬宿とも意味が当てはまるため、この推測は正しいと言えるだろう。

このようなことから、「ゼルダの伝説」は「日本、イギリスやフランスなど中世



ヨーロッパ、中国、モンゴル、起源前 1900 年頃、メソポタミア文明やエジプト文明」の文化が混ぜ合わさって作られているのだと考察でき、ゲームと現実の共通点は多数見つかった。そして、馬宿は、「ゼルダの伝説」というゲームの中では重要ではあるが小さな一要素なのにも関わらず、こんなにもたくさんの文化が要素としてあることに感銘を受けた。これからも、ゲームにある文化的要素を感じつつ、ゲームへの理解を深めていきたい。そしてこの「ゼルダの伝説～Tears of the Kingdom」というゲームをなお一層、楽しんでいこうと思う。

[参考文献]

<https://rugrea.com/read/?p=1341>

<https://sartoria.hyogo.jp/?p=592>

https://www.nikkei.com/article/DGXNASDG09040_Z00C10A9CR8000/

<https://www.daiwahouse.co.jp/sustainable/eco/column/world/mongol.html>

<https://geographica.jp>

https://sadakari.co.jp/?page_id=327#:~:text=14世紀の上流階級,付きベッ

[ド」の始まりです%E3%80%82](#)

<https://www.apj-tassels.com/about-tassel>

https://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/tokaido/02_tokaido/04_qa/index1/a0105

[.htm#:~:text=「宿駅」とはもともと街道,のことをいいます%E3%80%82](#)

中沖充「見てすぐつくれる建築模型の本」彰国社(2015年9月30日)

西日本工業大学石垣充研究室+つくりもの/九州産業大学 ABC 建築道場+矢作昌生

「建築模型アイデア図鑑」学芸出版社(2021年7月8日)